



2005 年 7 月 28 日 理事会議事録

2005 年 7 月 28 日、東京都渋谷区の株式会社グルーエージェント事務所にて 2005 年 7 月の月例理事会を開催した。19 時より、栗原傑享(議長)、比嘉康雄、羽生章洋の各理事により議事を進める。

NPO 設立関連の件

栗原より、NPO 法人設立関連についての報告が行われた。以下のとおりである。

- ・ 7 月 16 日のすなあそびイベント終了後に予定通り設立総会は開催され、滞りなく議事進行した。
- ・ 定款の原案から 1 点だけ、団体会費の 1 口金額が原案では 30 万円の箇所について、稟議決済の問題や小規模企業の負担の重さを考慮して 1 口 5 万円としてはどうかという提案があり、即時議決をおこなったところ提案どおり団体年会費を 1 口 5 万円と原案を修正する旨、決議した。
- ・ 定款の他の部分、他の審議事項については原案通り確認・決議している。
- ・ 入会申し込みを、59 名の方からいただき、105 口、10 万 5 千円の年会費を収納させていただいた。
- ・ 7 月 20 日に内閣府に設立書類を提出した。
- ・ 7 月 27 日に内閣府に確認のところ、定款に修正項目があることと、来年度の事業計画および収支予算書の添付が無かった旨伝えられた。修正のうえ、再度提出を行う。

ムック本への寄稿について

羽生より、インプレス社より J2EE を対象としたムック本に、ファウンデーションの関連製品についての執筆依頼があったことが報告された。60 ページ余、9 月末の締め切りである。ドキュメントチームで執筆にあたることが提案された。原稿料の取り扱いおよび配分について注意が必要とのことを確認したうえで、全員一致で決議した。

Kuina ワーキンググループについて

比嘉より S2 コンテナコミッタを中心に非公開のワーキンググループで、Kuina についての計画案を策定中と報告された。

コミッタ組織について

栗原より、新コミッタ組織および Seasar.org サーバの構造についての試案を提示した。案の骨子は以下の通りである。

- ・ コミッタは、チーフコミッタ、プロジェクトリーダー、コミッタと階層化する。
- ・ チーフコミッタは比嘉が就任する。
- ・ 初期のプロジェクトリーダーは比嘉が推薦する。
- ・ プロジェクトリーダーはトップノードプロジェクトを主宰しすべての決定権限を持つ。
- ・ コミッタは、それぞれひとつ以上のトップノードプロジェクトに属し、プロジェクトリーダーに協力し活動を行う。
- ・ プロジェクトリーダーが、自分の主催するトップノードプロジェクトの範囲で、コミッタの任免を行う。
- ・ トップノードプロジェクトはそれぞれ独自の Seasar.org サブドメインを持つ。
- ・ トップノードプロジェクトの追加・削除は、プロジェクトリーダーをメンバーとする会議の決議により、理事会が承認を行う。
- ・ プロジェクトリーダーの任免は、プロジェクトリーダーをメンバーとする会議の決議により、理事会が承認を行う。
- ・ トップノードプロジェクトはその配下に複数のサブプロジェクトを持つことができる。



- ・ サブプロジェクトの追加・削除は、プロジェクトリーダーが決する。
- ・ ファウンデーションの団体会員については、1 口を超えた会費口数について「スポンサーシップ口数」と定義し、支持する開発プロジェクトおよびスポンサーシップ口数の分配数を決定する。
- ・ 各トップノードプロジェクトの WEB ページにおいて、分配されたスポンサーシップ口数の多少の順により団体会員のバナーもしくはリンクを掲示する。
- ・ プロジェクトリーダーは年度末において、支持される団体会員に対して年次の活動報告を行い、翌年度も継続した支持を訴えるようにする。

上記骨子は、別紙の資料にまとめてある。さらなる案の具体化およびメーリングリスト等広い議論の場での意見聴取を行うことを続ける。案の具体化については続けて栗原が行うこととした。全員一致で決議した。

イベントについて

先々月および先月の理事会で議論したイベント日程について、再確認をおこなったところ、日程と回数の予定を変更が必要との結論に達し、以下のように計画を修正した。

- ・ 2005 年 8 月に予定した大阪でのイベント開催については、9 月開催に変更のうえ、正式決定とした。
- ・ 2005 年 10 月に予定した「Seasar Technology Day」は、2006 年 1 月もしくは 2 月開催に変更した。
- ・ 2006 年 2 月開催の翔泳社主催イベントへの併設共催は中止した。

上記各変更は、準備期間が短いことと、予算編成上の問題からである。翔泳社主催イベントへの併設共催の中止については、相手先に謝意を伝えたいと、改めて 2007 年に同様企画を実現できるよう、今後も変わらぬ支援を要請することとした。全員一致で決議した。

以上で議案全部を終了したので、20 時 30 分に閉会した。以上の決議を証するため、出席理事は次に記名押印する。

平成 17 年 7 月 28 日

特定非営利活動法人 Seasar ファウンデーション理事会

議長 代表理事 栗原 傑享

理事 比嘉 康雄

理事 羽生 章洋